

実施計画事業名		スポーツ施設整備活用事業		評価対象年度	平成 22 年度			
評価担当部署		教育部 社会教育課		課長(主幹)名	小田島 富男			
総合計画体系	分野	1	教育・文化					
	政策	3	活気あふれる学びの場づくり					
	施策	3	生涯スポーツを推進します					
	関連施策							
現状と課題	各スポーツ施設の管理運営は、平成18年度より指定管理者制度によるスポーツ施設の管理運営を行ってきたが、人口の減少に伴うスポーツ人口の減少や、個々の趣味の多様化等から利用者は全体的にやや減少傾向となっている。しかし、反面、各種競技の大規模な大会や大学、社会人、プロチーム等の合宿誘致はその成果が表れはじめている。施設の老朽化による整備必要箇所が増えている。							
目的	市民のスポーツ、レクリエーション活動のニーズに対応した利用しやすい施設サービスを提供する							
5ヶ年展開の	<input type="checkbox"/> 引き続き、指定管理者制度により管理運営を行い、市民のニーズに迅速に対応できる施設運営を行う。 <input type="checkbox"/> 市民(利用者)ニーズの把握とその問題解決 <input type="checkbox"/> 整備年次計画に基づく施設整備計画の策定							
成果指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	体育施設利用者数(年間延べ)		人	目標	340,000	350,000	350,000	
説明	稚内市体育施設条例に定められる各体育施設の年間利用者(延べ)の合計人数			実績	344,925	328,908		
活動指標	名称		単位		21年度	22年度	25年度	
	自主事業の開催回数		回	目標	45	45	45	
	説明	指定管理者が自主事業を開催した回数		実績	43	46		
	水夢館の利用者数		人	目標	100,000	100,000	100,000	
	説明	水夢館を利用した人数		実績	99,048	97,500		
	稚内市総合体育館の利用者数		人	目標	55,000	55,000	55,000	
	説明	稚内市総合体育館を利用した人数		実績	53,076	43,000		
			目標	-	-	-		
説明			実績					
事業費の実績		単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	340,983	368,312	283,267		
	国庫支出金		千円	0	0			
	道支出金		千円	0	0			
	起債		千円	0	0			
	その他		千円	0	0			
	一般財源		千円	340,983	368,312	283,267		
	この事業にかかる職員数		人/年	1.24	1.32	1.32		
人件費(B)		千円	8,588	8,964	8,964			
計(A+B)		千円	349,571	377,276	292,231			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化 体育施設の指定管理者制度は、温水プール水夢館で4年目、その他の体育施設で3年目、これまで以上に利用者へのサービスを考慮した管理運営体制となるよう、指定管理者と協議を行ない、利用促進に努めてきた。							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	<p>b a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある)</p> <p><cの場合は、なぜかを分析して記入する></p>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	<p>b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要</p> <p><bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p> <p>施設の整備を充実させることにより、利用者にとって快適な使いやすい安全な施設となっていくことから、今後も古くなった器具の入れ替えも含め、事故防止といった観点からも定期的・計画的に整備していく必要がある。また、緊急的な整備についても敏速に対応し、施設の安全性を確保していく必要がある。”</p>
コ ス ト 効 率	各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか
	<p>b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要</p> <p><bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p> <p>老朽化の著しい施設(市営球場・市体育館・カーリング場等)については、今後関係団体と十分な協議を進め、市民ニーズを踏まえて今後の方向性を検討していく。</p>
総 合 評 価	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	<p>a a 問題なし b 改善の余地がある</p> <p><bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する></p>
総 合 評 価	B 見直しの検討が必要
	<p><A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する></p> <p>市内体育施設の総合的な有効利用を基本に、市民ニーズの的確な把握に努め、各関係機関とも充分に連携を取りながら今後の方向性を示す必要性がある。</p>

【2次評価】

成 果	b	細事業の構成	b	細事業の進め方	b	コスト効率	b
総 合 評 価	B 見直しの検討が必要						
<p><2次評価者の視点からコメントを記入する></p> <p>指定管理者との連携を強化し、施設の有効利用が図られるよう努めること。</p>							

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--